

——合志市に住むきっかけは？

友人から「住みやすい」、「環境が良い」と聞いていたので、「もし住むとしたら合志市に」と思っていました。私は、県外出身で、両親とは離れて住んでいるので、仕事で子どもの面倒が見られない時などは合志市の友人たちに助けてもらっています。夫の実家に近いエリアで、仕事で行く機会が多い熊本市に移動しやすいことも理由でした。

——住んでみた印象は？

「自然豊かな公園が結構あるな」という印象ですね。「ちょっと公園に行こうか」という機会が増えました。また、子どもの医療費やインフルエンザ予防接種の助成が他の自治体より手厚いこと、大人が学べる生涯学習講座の多さ、図書館やマンガミュージアム、天文台などがあるのも魅力ですね。「生活に優しい都市」、「大人も楽しめる都市」だと思います。

フリーアナウンサー

いご

まなみ

井後 真奈美さん

——合志市に望むことは？

昔から住む人と、新たに住み始めた人とのコミュニケーションの場が増えたらいいと思います。また、交通量が増えているので、子どもたちの通学路の安全面がとても心配です。市役所には、危険な通学路への速やかな対応や改善、その経過について分かりやすい情報発信をお願いしたいです。

——情報発信が大事？

「市民に伝えるべき情報はたくさんある」と思っています。合志市に住んでいても知らない地元のことは多々ありますので、市役所の公式Twitterの発信が最近増えたのはとても良いことですね。市民への積極的な情報発信は新たな意見や文化が出てくると、合志市を活気づけることに繋がると思っていますので、市役所の今後の取り組みに期待しています。